

## これまでに誤嚥性肺炎の治療を受けた患者さんへ 【診療情報の研究への使用のお願い】

順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センターでは「誤嚥性肺炎患者における、歯科医師介入による予後に及ぼす効果を評価する研究」という研究を行っております。この研究は、誤嚥性肺炎で入院となった患者さんを対象に歯科医師が口腔ケアをすることで誤嚥性肺炎の再発がどのくらい減るかについて調べることを主な目的としています。そのため、過去に誤嚥性肺炎で入院治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます、誤嚥の再発に関する因子を検討します。

○この研究の対象となる患者さんは、誤嚥性肺炎の方で、西暦 2020 年 4 月 1 日から西暦 2021 年 3 月 31 日の間に順天堂東京江東高齢者医療センターで誤嚥性肺炎の診断で入院治療を受けた方です。2021 年 4 月以降に入院となった患者さんにおかれましては、同意文書にてご同意いただいておりますので、こちらの文章は関連がありませんので、お気に留まれませんようよろしくお願いいたします。

・利用させていただくカルテ情報、およびカルテ期間は下記です。

年齢、性別、併存疾患、元々の内服薬、元々の生活自立度、誤嚥性肺炎の入院期間、誤嚥性肺炎の再発の有無、誤嚥性肺炎の治療期間、誤嚥性肺炎治療後の食事開始時期  
期間：西暦 2020 年 4 月 1 日～西暦 2022 年 3 月 31 日

○この研究は順天堂大学医学部医学系研究等倫理委員会の承認を受けて行われます。

- ・研究実施期間 倫理委員会承認日 ～ 西暦 2024 年 12 月 31 日まで
- ・研究責任者 梁 広石

○過去の検体、データを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等ありません。

○患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報を含みません。また、共同研究機関である東京医科歯科大学ならびにその他、学術研究機関同士で情報を共有する際には、特定の個人が識別できないように匿名化し、データファイルとしてセキュリティが確保されたインターネット経由、または特定の関係者以外がアクセスできない電子媒体で提供を行います。

○調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。

○本研究は、日本病院総合診療医学会の研究事業助成金より、サポートを得ております。しかし、本研究は企業からの資金提供は受けておらず、研究者が企業から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」第8の1(2)イの規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント（説明と同意）を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望や、研究に関するご質問がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

順天堂大学医学部附属順天堂医院 総合診療科

研究担当者 宮上 泰樹

03-3813-3111（代表）（内線 730615）

順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター 総合診療科

研究責任者 梁 広石

03-5632-3111（代表）（内線 1204）